



ゼロ
0円
キッチン

10月の「世界食料デー」月間『0円キッチン』全国上映キャンペーン2018

ユナイテッドピープル
2018.7.31

<http://unitedpeople.jp/wastecooking/zeromonth2018>

映画『0円キッチン』とは？



ヨーロッパ中5079KMを684.5リットルの廃油で走るキッチン付きの車でキャラバン。
ルールは一つ。捨てられた食材を使って料理して、出会った人たちと食事を愉しむ！

映画『0円キッチン』概要

『0円キッチン～捨てないで、おいしい料理を～』はジャーナリストで“食料救出人”的ダーヴィドが食料廃棄をなくすため、廃油で走るキッチン・カーでヨーロッパ5ヶ国を巡り、廃棄食材クッキングの旅に出るエンターテイメント・ロードムービーだ。消費社会に生きる私たちは、まだ食べられるのに大量の食料を毎日捨ててしまっている。世界で生産される3分の1の食料は廃棄されており、その重さは毎年13億トンにもなる。各地で食に関してユニークな取り組みを行う人々と出会いながら廃棄食材料理を振舞い意識変革にチャレンジするダーヴィドの『0円キッチン』の旅から食の現在と未来が見えてくる。

《ドーヴィルグリーン国際映画祭 2015 ドキュメンタリーディレクター賞》
《カンヌ コーポレートメディア&TV大賞2015 自然・環境・エコロジー部門 シルバードルフィン賞》

監督：ダーヴィド・グロス、ゲオルク・ミッシュ
配給：ユナイテッドピープル
2015年／オーストリア／81分
HP：<http://unitedpeople.jp/wastecooking/>



世界から食料廃棄をなくす旅。キッチン付き廃油カーでヨーロッパを巡り廃棄食材料理を届けるエンターテイメント・ロードムービー！

10月の「世界食料デー」月間『0円キッチン』全国上映キャンペーン2018



毎年10月16日は世界の食料問題を考える日として国連が制定した「世界食料デー」です。日本では、10月はリデュース・リユース・リサイクル推進月間、略称「3R推進月間」でもありますが、世界で生産される3分の1の食料は廃棄されているという現実を、少しでも変え、食料廃棄を減らすために、2018年10月の「世界食料デー」月間に10月に全国一斉に食品ロス問題に関するドキュメンタリー映画『0円キッチン』の上映運動を起こします。ぜひ、あなたも10月に本企画に参加しませんか？「世界食料デー」月間の上映最低保証料金を半額と致します！上映者をお待ちしています！

《上映料金》

◎1日ライセンス・・・最低保障料金50,000円（税別）
→ 「世界食料デー」月間 である2018年10月中の上映は **25,000円（税別）** に！

※ただし動員人数×500円（税別）が最低保障料金を上回る場合は、動員人数×500円（税別）

。※1日毎に料金が発生します。

《宣伝材料》

ちらし料金1セット（B5 100枚）800円
ポスター料金1セット（B2 3枚）1,000円

※価格はすべて税別です。

※ちらし・ポスターのみをご注文の場合は、送料込みで上記価格です。

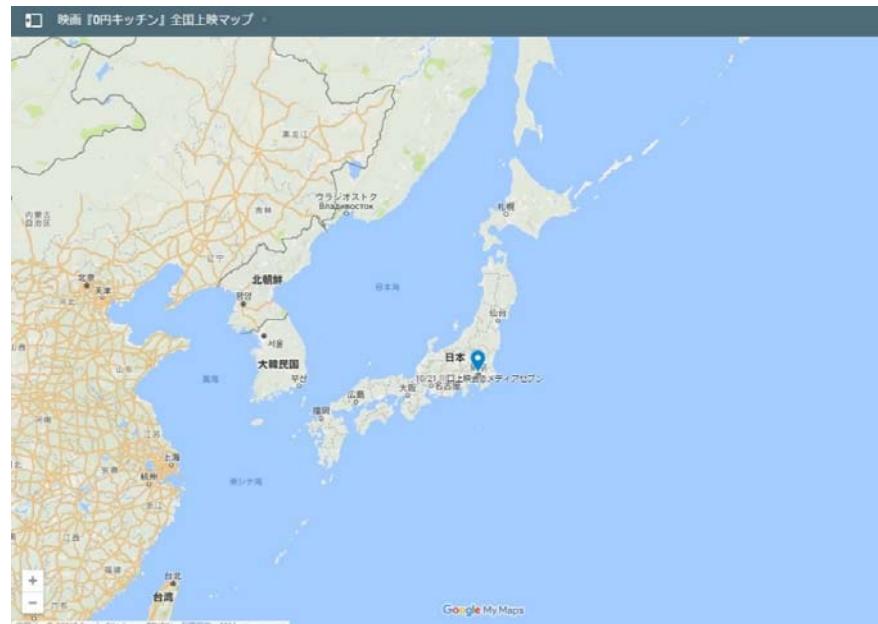
《上映素材》

DVD／ブルーレイ

《送料》

全国一律510円

※「ユナイテッドピープル・シネマ」対象作品です。



映画の市民上映会開催方法について

【1】上映会開催メンバーを募る

上映会開催経験のあるメンバーが仲間にいるといいでしょう。そうでなければ何かしらのイベント運営経験者と一緒に企画しましょう。どこかの上映会に参加して経験を積んでから企画してもいいでしょう。

【2】開催場所、料金、プログラムを決める

一つ、どこで、誰に対して上映会を開催するのかを決めましょう。参加料金は自由に設定できます。会場の料金や講師への謝金等を鑑みて、予算を立てましょう。映画の上映後は、映画についての解説をしたり、参加者同士で映画の感想をシェアする時間を作りましょう。

例えば映画の上映後に、4人程度の小グループに分かれて感想を述べ合ったり、何かテーマを決めてディスカッションすることはいかがでしょうか。映画を観た後に、各自が深め、そして他の参加者の考えを知るシネマ・ダイアローグにぜひチャレンジしてみてください。

その他開催についてのアイデア

食品ロスがテーマの映画ですので、ご家庭で余った食材を持ち寄り皆さんで調理して一緒に食べる、リアル「0円キッチン」を上映会と絡めてもいいでしょうし、1品でも普段、廃棄されてしまうような食材を振る舞うのも良いでしょう。

市民上映会の
開催に必要なもの



スクリーンor白い壁

+

プロジェクター

+

スピーカー

+
α

上映会開催
アイデア